

2021

6

# とやま



## 第56回通常総代会

太田地区総代代表  
堀田 邦雄 議長

5月29日(土)午後1時30分  
富山市農業協同組合  
3階大会議室



7・8月 税務相談日 (本店2階)

7/12(月)、7/26(月)、8/10(火)、8/25(水)  
各 PM1:00~PM3:00

## 目次

- ・第56回通常総代会開催 …… 2
- ・第56回通常総代会  
附議議案 …… 3
- ・第56回通常総代会  
関係Q & A …… 4~7
- ・Topics&News …… 8
- ・葬祭事業について …… 9

# 第56回 通常総代会開催

第56回通常総代会が5月29日（土）午後1時30分から富山市農協3階大会議室において、総代定数500名のうち本人出席42名、議決権行使書421名、計463名の出席にて開催されました。議長に太田地区総代堀田那雄氏を選任後、議事に入り付議議案を慎重に審議いただき、第1号議案から第7号議案まで賛成多数で可決・承認され、午後3時11分に終了いたしました。



本日の通常総代会は昨年に引き続き「コロナ禍」の中での開催となりましたが、ご出席いただきました総代各位には、何かとご多忙の折ご出席を賜り誠にありがとうございました。また、多くの書面による議決権行使をいただいた総代各位にも心より感謝申し上げます。

併せて、平素は農協事業全般にわたり格別のご理解とご協力を賜っておりますことに対しても改めて申し上げます。

おかげをもちまして、本日ここに第56回通常総代会を開催する運びとなり、昨年度（第55年度）の業務報告ならびに今年度（第56年度）の事業計画等多くの議案を上げることができますことを重ねて厚くお礼申し上げます。

昨年は「コロナ禍」に見舞われ、農業祭を始めとする各種イベントの中止が相次ぐ中、事業の改善と経費節減に取組んだ結果、税引前当期利益は当該事業計画から25,909千円を上回る99,454千円を計上し、また財務面では自己資本比率18.81%という健全値を確保することができました。このことは組合員の皆様の変わらぬご支援の賜物であると深く感謝申し上げます。

さて、農業・農協をめぐる情勢としては、「コロナ禍」の影響等によって国内外の消費が大きく落ち込む中、農業においても飲食店等の営業自粛によるコマの消費が減少しました。加えて、全国的な新品種米のデビューによる産地間競争の激化も相まったことから、更なる主食用米の計画的生産・水田フル活用の推進・ブランド力強化が喫緊の課題となっておりますし、農業就業者の高齢化と世代交代等により「土地持ち非農家」の増加等、農業者の減少から農業基盤の弱体化が急速に進んでおり基盤の再構築が急務となっております。

一方、信用事業ではマイナス金利による利鞘の縮小、共済事業では共済保有高の減少、購買事業では他業態との競争激化を受け、農協をとりまく経営環境は

厳しい状況が続いています。

このような経営環境の中、不断の自己改革の実践、そして令和元年度策定した中期経営3ヶ年計画（令和元年度から令和3年度）を着実に実践してまいりる所存です。

また、今後予想される農業者数の減少に対応するため、当農協の子会社である「ジエイエーとやまサービス」の充実・強化を引き続き図っており、今後も計画的な増員及び機械施設の整備を図りたいと考えています。また、近い将来に備えジエイエーとやまサービスにおいて農業用ドローン等を活用したスマート農業の調査・実証を行なっております。

加えて、平成29年にオープンしました直売所「まんなか市場」は、お陰様で年々売り上げも伸び、本年6月に増築オープンの運びとなります。これを契機に新たな生産者の育成や生産拡大を目指していく所存でございます。

なお、書面による議決権行使書の提出に伴い頂戴しました「ご意見・ご質問」及び、本日はいただきましたご意見等については、農協だより等を通じて誠心誠意回答させていただく予定です。皆様方からお寄せいただきました貴重なご意見・励ましに感謝申し上げます。

そして、厳しい経営環境や農業情勢の中地域の「農業とくらし」を支えるという使命のもと、農協の「総合事業体」としての強みを生かすとともに、「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向け挑戦していくことで組合員はじめ地域の皆様の負託に応えたいと存じます。

結びになりますが、総代各位におかれましては、今まで以上に力強いご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げますと共に今後益々のご繁栄とご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

# 第56回 通常総代会附議議案

- 第1号議案** 第55年度事業報告及び剰余金処分案承認の件  
＜報告事項1＞ 第55年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書の件  
第55年度部門別損益計算書の件
- ＜報告事項2＞ 「JAバンク基本方針」の変更について
- 第2号議案** 定款一部変更の件  
附帯決議  
行政庁の指示により字句の修正を要するときは、理事会においてこれを修正する。
- 第3号議案** 共済規程一部変更の件  
附帯決議  
行政庁の指示により字句の修正を要するときは、理事会においてこれを修正する。
- 第4号議案** 第56年度事業計画設定の件  
但し、経済情勢の変化などにより事業計画の内容を一部修正する必要があるときは、これを理事会に一任する。
- 第5号議案** 第56年度賦課金の額、賦課方法、徴収時期及び徴収方法決定の件
1. 賦課金の総額 2,599,913円
  2. 賦課方法  
令和3年6月末現在において賦課するものとし、その賦課基準は次による。  
(1)組合員割 200円（1人当り）  
(2)面積割 100円（10a当り）
  3. 徴収時期  
令和3年10月31日までに全額徴収する。
  4. 徴収方法  
徴収の最終期日までに納入されないときは、その期日をもってこの組合の貯金口座から振替決済の方法による。
- 第6号議案** 第56年度における理事の報酬に関する件  
第56年度における理事の報酬は、昨年度の支給実績、経済情勢の変化等を考慮して総額20,600千円以内とし、その範囲内における各理事の報酬額並びに支給方法などは理事会に一任する。
- 第7号議案** 第56年度における監事の報酬に関する件  
第56年度における監事の報酬は、昨年度の支給実績、経済情勢の変化等を考慮して総額5,400千円以内とし、その範囲内における各監事の報酬額並びに支給方法などは監事の協議に一任する。

**全ての議案において賛成多数で承認されました。**





# 第56回通常総代会 事前説明会 (令和3年5月24日(月)開催) 及び事前提出における「質問・意見・要望」について

令和3年5月24日(月)に第56回通常総代会 事前説明会が4回に分けて開催されました。総代招集数499名の内、57名の総代の方々にご出席賜りました。なお、26名の総代(南支店17名、中央支店9名)より説明会当日及び事前の質問・意見・要望をいただきましたので、一部をご紹介します。なお、多くの励ましをいただき感謝申し上げます。



## 経営

Q

指導事業は、営農改善事業、生活文化事業、教育情報事業に区分されておりますが、具体的に何をしているのか説明願います。また、指導事業の収支は、前年度実績が、17百万円の赤字であるのに今年度計画は、更に25百万円の赤字を計上している理由も併せて説明願います。

A

事業内容ですが、例えば営農改善事業として地域農業振興支援対策等をはじめとする集落営農推進活動を行っていますし、教育情報事業として組合員参加型の行事開催等協同の輪を拡大する活動を行っています。前年度は、コロナ禍により会議、研修等行事の開催ができなかったため、支出が縮減した結果となりました。本事業は、組合員にご利用いただくための予算措置であり、例年、収支は赤字となりますことをご理解願います。本年度は、コロナ禍の状況をみながらの事業展開となりますが、多くの組合員の利用を計画した結果、収支25百万円の赤字としています。本事業は、あくまでも組合員へのサービス事業であり収益を確保することを目的とせず、他事業で収益を確保しますので、赤字収支は回避できない仕組みとなっています。

Q

令和2年度の事業利益は、人件費の縮減(定年退職等)もあり、29百万円を計上されていますが、職員数は、年度末130名という体制です。まんなか市場の規模拡張もありますことから採用も必要かと思えます。今後の要員計画についてご説明願います。また、農協の経営は厳しいですが、組合員サービスを高めるため職員の資質向上についてもご意見をいただきたい。

A

職員の採用については、これまで退職者等による欠員の補充をその都度、行ってきました。しかし、次年度以降は、職員の人員構成上、採用計画を進める必要があると考えています。本年を含め2年間、新規学卒者を採用していない状況を続けますと将来的に芳しくないため、次年度は、少数ですが、優秀な人材を採用し、経営基盤を強固にしたいと存じます。また、店舗統廃合により2支店体制になったことから、旧7支所体制と比較し年度中の欠員に対しても対応できる統廃合効果が現れてきていると感じています。

Q

法人税等調整額90,387千円の計上に対し税効果調整積立金を同額取り崩しすることで繰延税金資産を圧縮し、当期末処分剰余金を184,118千円を捻出されています。当期剰余金が、僅かな中、多額の税効果調整積立金を取り崩した理由を説明願います。

A

繰延税金資産は、将来の会計期間に帰属する法人税の前払い的な要素となりますが、計上基準となるのが、税金費用の実現する将来時点で十分な当期利益が確保されていることが条件となります。当組合の経常収支シミュレーションでは、4年後には、当期純利益が確保されないとの判断から税効果も見込まれないとの判断によります。なお、繰延税金資産の取り崩しについては、会計監査人と協議した結果の指導でもありますので、ご理解願います。

Q

㈱ジェイエーとやまサービスの損益状況において令和2年度実績も令和3年度計画も売上高に対する売上原価率が、150%を超えており、売上総利益が、大幅な赤字となっておりますが、その理由を説明して下さい。

A

売上原価が、売上高を上回っていますが、売上高に含めない営業外収益として水田関連助成金(水田活用交付金・数量払い交付金・産地交付金等)の収入があります。売上高を構成する農産物販売高及び受託農作業収益には、各種助成金の収入を別に見込んだ料金設定としていることによります。

Q

担い手育成は、進展しているのでしょうか。担い手の確保は、農協としても事業基盤であり、放置すると死活問題となります。

A

担い手及び新規就農者育成は、ご指摘のとおり地域農業の活性化に向け取り組む当組合の基本方針でありますことから行政と連携し、「人・農地プラン」の実現に向け努めてまいります。令和2年度末の「人・農地プラン」に掲載されている当組合の担い手は、122経営体であり1,160haの経営面積となっており、担い手カバー率は46.2%という状況です。昨年、国が、「人・農地プラン」の実質化を加速化させる中で、当組合管内は、生産者と富山市の協力のもと実質化がなされています。

Q

令和3年度の事業計画と将来性において米離れ、自給率の低下が深刻な課題であります。将来的に米の問題に対しどう取り組むのが、明確ではありません。例えば米の加工品に取り組むことで、生産者の所得に貢献していただくような施策があればご説明願います。

A

コロナ禍もあり、米の販売進捗度が悪い状況ですが、水田フル活用により備蓄・加工用米への取り組みを推進しています。このような中で、当組合としては、契約栽培米ゆうだい21への生産拡大（作付面積120ha目標）を更に強化していきます。ゆうだい21は、コシヒカリより優位な価格が期待できますので、農家所得向上に寄与します。また、県では、学校給食として富富富を通年供給する施策も進めていますし、米粉を利用した商品の取扱いも行っていきます。出荷農産物の加工品は、困難ではありますが、例えば味噌づくりなどを将来的にできればと考えています。

Q

当組合の店舗統廃合により売却した不動産とその施策について説明いただきたい。

A

店舗統廃合により遊休資産となっている不動産は、随時、売却処分等を進めてまいりました。旧支所としては、蟠川・堀川・山室支所の土地を平成29年から令和元年にかけ売却しましたが、いずれも売却益を老朽化した施設等の改修・設備更新に充てております。なお、残る遊休資産につきましては、その利活用を含め売却等処分できるよう取り組み中です。

Q

女性役員の役割を期待していますが、農協としては、今後どのように考えていますか。

A

女性役員においては、2年前から選任していますが、男女共同参画社会基本法の主旨にそっているところです。女性理事の視点で理事会等で意見を反映することを目的としています。まんなか市場の店舗運営にも意見をいただいております。全国的には、医療・福祉等健康面での活躍も期待されています。また、経営数値に表れる活躍ばかりでなく、総合的な視点で女性役員の活躍を期待されることです。

Q

事業報告の中で、当該事業年度における重要事項として①富山市内4JA合併研究会脱退を掲げていますが、詳細説明がありませんので、説明が必要ではありませんか。

A

当組合は、昨年11月4日の臨時理事会にて合併研究会から脱退する議案を承認し、11月5日をもって研究会活動を中止しました。研究会組織は、合併ありきで活動している組織ではなく、合併する場合の重要事項を事前に研究することを目的としていました。脱退理由としては、各JAと種々の合併課題に対する合意形成が図れなかったことにつきまします。本件につきましては、前年度の地区運営委員長方々には、ご説明させていただいておりますが、組合員の皆様には、昨年12月発行の広報誌にてご案内させていただいておりますので、ご確認願います。なお、詳細な説明となりますと他のJAとの守秘義務に関わる部分もありますので、総代会資料への記載は、控えさせていただきましたことご理解願います。

Q

令和3年度事業計画にて農産物の生産・販売拡大策としてまんなか市場での販売ばかりが、前面的となっているようですが、直売所以外に強化すべききめ細かい施策が必要だと思います。

A

直売所での販売ばかりでなく、野菜の生産も重要施策として位置付けており「1億円産地づくり」への高収益作物生産への取り組みとしてジャガイモの生産に取り組んでいます。今後は、本年2月に設立した富山地区高収益野菜推進協議会において里芋、人参、ネギ等の生産に組み込み、園芸振興を進めています。当組合に隣接する全農では、トレーニングハウスを3棟整備して認定就農者に貸与する計画を進めていますし、120aの圃場にて露地野菜の栽培に取り組んでいます。全農の取り組みと連携すると共に生産調整が進む中で高収益野菜の生産を含む複合経営を進め、市場出荷を中心とするも業務用野菜等にも取り組んでまいり所存です。

Q

担い手育成の課題に関連しますが、当地区の営農組合にも不安が残るところから(有)ジェイエーとやまサービスに期待しています。しかし、(有)ジェイエーとやまサービスの経営においては、水田関連助成金によって赤字が回避できているとのことですが、本来の事業収益が成り立っていないということになります。また、当該会社の貸借対照表も掲載されていないことからどのような投資状況なのか、設備投資に対する回収や人員体制の状況についても示すべきだと思います。そのような情報開示は、営農組合組織にとっても参考になると思います。

A

担い手不足と離農者の増加は、深刻な課題であると認識しています。親元就農を含め新規就農者の支援を積極的に実施していく必要があります。また、地区農業者協議会と連携して集落営農組織の経営規模拡大と担い手育成及び農地の集積に努めてまいります。このような状況により(有)ジェイエーとやまサービスにおいては、今後ますます、受託面積の増大が見込まれますことから人員体制の構築をはじめ相談窓口機能等も進めていきたいと考えています。当該会社の経営は、補助金に依存する状況を早急に回避することは困難でありますし、貸借対照表を含めた財務諸表については、総代会後に開催される株主総会で詳細を検討の上、決議される予定ですので、ご理解願います。機械等の設備投資につきましても計画的に進めてまいります。

Q

地域の営農組織と(有)ジェイエーとやまサービスとの経営に違いがあることは当然だと思います。農協の子会社であることから収益重視という経営方針では無く、地域農業を守りながら経営収支を維持していると理解していますので、農協は、補助金を有効利用しながらの経営について、理解を求める説明をすべきと考えます。

A

ご意見のとおり(有)ジェイエーとやまサービスは、各地区の集落営農組織と競業しているわけではなく、営農組織が作付けしにくい未整備農地の受託を多く抱え、サポートしています。今後の課題としては、高収益作物の生産取り組みも一つであると考えていますが、営農組織や担い手層が作付けできない農地に対し最後の受け皿としての機能を強化したいと考えています。収支については、ご意見のとおりであり、補助金の有効活用が続くと見込まれます。

Q

昨今、離農者が増え、農協離れが懸念されますが、農協は組合員の為の組織であり、拠り所であるべきです。また、やる気があり、元気で明るい農協であってほしいです。

A

第56年度事業計画基本方針としている「地域農業の活性化」と「愛される農協づくりとメンバーシップの強化による協同理念の実践」を進めていくことで、ご要望に応えたいと存じます。





# 営農

Q

令和3年産米を取り巻く情勢をお聞かせ下さい。在庫が増えているとの情報もありますので、概算金を含めた見通し等をご説明願います。

A

コロナ禍もあり、昨年から米の需給緩和が進んでいます。令和2年産富山県産米の販売状況は、令和3年3月31日現在の販売進捗は36%と低迷しており、前年比59%と落ち込んでいます。6月民間在庫が8月に発表される見込みであり、この在庫数を基準に令和3年産米の概算金が8月中下旬に決定されます。全国的に720万トン程度の生産量になるのではないかと見込んでいますが、今後の需給動向をしっかり注視してまいります。

Q

小規模生産組合員に向けた省力化・生産コスト低減に努めて下さい。

A

大規模農家のみならず、広く組合員の所得増大と生産拡大に寄与できるよう重点項目の実践を進めていきます。

Q

まんなか市場の店舗面積は、広くなりますが、スーパーマーケット並みと言えません。今後、多くの種類の商品を揃えて顧客の利便性を高めて下さい。

A

直売会会員及びご利用者、皆様のおかげで店舗を拡大することができ、感謝申し上げます。今後は、地場産の農産物を中心としながらも幅広い商品を取扱い拡充できるよう取り組んでまいります。

Q

農業収支を無視した生産活動はできないので、農家収入を増大し、生産コストを低減していただきたい。

- ①米価を上げること。
- ②農機、肥料・農薬等生産資材、農機修理費のコストを抑えること。
- ③農業祭以外にも特卖会を開催すると共に農機の操作・メンテナンス講習会等も開催していただきたい。

A

主食用米の価格を上げることは、需要低迷により困難ではありますが、備蓄米・加工用米への取り組みや業務用米への販路拡大を継続します。生産コストの低減については、購買事業方針のとおり組合員の皆様が必要とする資材を安定供給し、コスト低減を図り所得増大を支援します。また、組合員が必要とするイベントや講習会の開催につきましても検討致します。

Q

米の需給緩和が進み、米余り（全国で24～30万トンの減産、67,000haの作付面積減）が懸念される中、総代会資料にてこの課題や農業リノベーションによる水田助成金について踏み込んだ内容が不足していますので、着目していただき、広報誌やホームページで情報発信していただきたい。

A

ご指摘のとおり今後、重要な営農情報の発信に努めてまいります。

Q

西部ライスセンターが、老朽化していることから早急な対策を講じていただきたい。また、大豆乾燥調製施設建設を検討いただきたい。

A

ご指摘のとおり、西部ライスセンターを含め老朽化した施設・設備につきましては、専門委員会にて緊急性を検討の上、修繕計画のもと対処してまいります。なお、西部ライスセンター及び大豆乾燥調製施設につきましては、補助事業としての取り扱いが困難な面もありますが、あらゆる方策を模索してまいります。

## 新嘗祭 田植祭

11月の新嘗祭で皇室に献上するコメの田植祭が5月25日、富山市熊野地区宮保の組合員 熊南昭浩氏（有限会社 耕和 代表取締役）の水田にて行われました。地元の小中学生5名が早乙女姿でコシヒカリの苗を植え、五穀豊穡を祈願しました。

この日は農業関係者ら約100名が出席し、当組合の中川組合長が富山市新嘗祭献穀奉耕協力会会長として「農耕文化と伝統を引き継ぎ、農業の大切さを広く伝えたい」とあいさつを行いました。

富山市農協管内での献穀は19年ぶりで9月に抜穂祭を行い、10月に献納されます。



## まんなか市場増床リニューアルオープン

6月1日に当組合の直売所まんなか市場の増床工事が完了し、2棟続きの店舗で新装オープンしました。

2倍に広がった売り場に組合員の皆様の新鮮な野菜を多数並べることができるようになりました。

6月1日、2日の両日でリニューアルオープンイベントを開催し、多数のお客様の来場があり大変ありがとうございました。

J A 富山市は今後も生産者の皆様の所得向上に役立つように尽力して参ります。



## 年金受給者友の会 会員の皆様へ

新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、今年度の「地区別総会」および「パークゴルフ大会」は中止とさせていただきます。会員の皆さまには大変ご迷惑おかけし、お詫び申し上げます。



## 組合員の皆様へ 葬祭事業について

日頃は当組合の葬祭事業をご利用いただき誠にありがとうございます。

2021年5月1日より葬祭業務取扱業者を今までの「しみず葬祭」から「オクス株式会社」へ変更させて頂く事となりました。

なお、「はごろもの会（定期積金）」に加入中の会員様につきましては、満期まで現行どおりご利用いただき、満期と同時に「はごろもの会」を終了とさせていただきます。今後皆様には加入の有無にかかわらず「オクス」の割引対象とさせていただきますので、当JAを通じぜひご利用ください。

何卒ご理解賜りますよう宜しくお願い致します。

南支店 ☎076-428-1122 中央支店 ☎076-425-2888 物流センター ☎076-428-0011  
【葬祭24時間受付専用ダイヤル】フリーダイヤル 0120-4194-05



農機GOGO JA 躍進運動

# 夏のうきうき 又キャンペーン!

商品・価格などの  
お問い合わせは  
JA農機  
センターまで  
お近くの

【キャンペーン期間】  
2021 6月1日<sup>火</sup>～7月31日<sup>土</sup>

※応募締切 8月5日(木)まで

期間中に対象メーカー（丸山・やまびこ・アサバ・マキタ）の製品を  
**1万円（税込）以上**ご契約のお客様に記念品を進呈！  
さらに！**3万円（税込）以上**の製品をご契約のお客様に応募用紙を  
お渡しいたします。ご応募いただいた方の中から  
**抽選で100名様に**  
**富山県産和牛ロース肉（焼肉用）400g**  
またはグルメギフトを**プレゼント!!**

記念品

※写真はイメージです

JA富山市 機械センター 076-429-7922

# 理事会だより

## 第1回定例理事会次第

と き 令和3年3月31日(火)  
午後1時30分  
ところ 本店会議室

### 協議事項

- 1) 定款等の一部変更(案)について
- 2) 第56回通常総代会及び事前説明会開催について
- 3) 第56回通常総代会付議議案(案)について
- 4) 第56年度事業計画設定(案)について
- 5) 尚ジェイエーとやまサービス決算及び事業計画(案)について
- 6) 信用貸付融資要項および信用評定規則の廃止(案)について
- 7) 第56年度における同一人に対する信用供与の最高限度額決定(案)について
- 8) 第56年度における余裕金の運用について
- 9) コンビニATM3社の利用手数料の見直し(案)及びJAバンク優遇プログラム導入(案)について
- 10) シルバーライフローン(ジャックス保証型)融資要項の制定(案)について

- 11) ローン融資要項(統一版)の一部改正(案)について
- 12) 農業資金融資要項の一部改正(案)について
- 13) 第56年度借入金の最高限度額決定(案)について
- 14) 経済事業にかかる理事との契約について
- 15) 特定事業者作成書面(リスク評価書)の改正について
- 16) 令和3年大雪被害に対する見舞金支出要領(案)の制定について
- 17) 労働組合要求について

## 第2回定例理事会次第

と き 令和3年4月27日(火)  
午後1時30分  
ところ 本店会議室

### 協議事項

- 1) 令和2年度決算について
- 2) 自己資本比率について
- 3) 第56回通常総代会及び事前説明会開催の変更(案)について
- 4) 第56回通常総代会の運営(案)について
- 5) 第56回通常総代会議長の選任(案)について
- 6) 会計監査人の報酬等について
- 7) 令和3年産米出荷契約金の資金対応(案)について

JAやま 0348 2306

編集・発行 富山市農業協同組合

〒999-8153 富山市吉岡466-1  
TEL(076)4299-1555 FAX(076)4299-1588  
E-mail: info@ja-toyamashi.or.jp  
ホームページ: http://www.ja-toyamashi.or.jp/

## 退職(令和三年三月三十一日付)

区分	氏名	旧任
定年退職(非雇用)	常川 恵子	企画総務部 課長
依願退職	川島 美奈	中央支店 金融窓口係
契約満了	高崎 昌治	臨時職員(嘱託) 企画総務部 総務課

## 職員人事(令和三年四月一日付)

新 任	氏名	旧 任
企画総務部 課長	和田 弥生	企画総務部 課長
企画管理課 課長	中坪 和枝	南支店 副支店長
金融共済部 課長	柴原 裕司	金融共済部 課長
営業経済部 課長	平井 陽子	南支店 支店長代理 金融担当
営業経済部 課長代理	武川 直樹	営業経済部 課長代理
営業経済部 課長代理	永田 貴久	営業経済部 係長
営業経済部 課長代理	中村 早苗	企画総務部 課長代理
営業経済部 課長代理	大橋 真人	営業経済部 係長
営業経済部 課長代理	西野 美絵	営業経済部 係長
営業経済部 課長代理	折口 淳士	営業経済部 係長
営業経済部 課長代理	山崎 綾子	中央支店 支店長代理 金融担当
営業経済部 課長代理	里見 晃子	金融共済部 係長
営業経済部 課長代理	平野 修平	金融共済部 係長
営業経済部 課長代理	佐伯 奈恵	営業経済部 業務係
営業経済部 課長代理	奥田 紗月	営業経済部 業務係

左記のとおり職員人事をおこないましたのでご案内申し上げます。

## 新規採用(令和三年四月一日付)

新 任	氏名
臨時職員(嘱託) 企画総務部 企画管理課	常川 恵子
臨時職員 営業経済部 農機自動車課 農機係	田村 信明

## 職員登用(令和三年四月一日付)

新 任	氏名
営業経済部 購買課	鉾井 恵美
燃料センター	白取 直哉

## 退職(令和三年五月三十一日付)

区分	氏名	旧 任
依願退職	和田 拓朗	南支店 金融窓口係(貯金担当)

## お詫びと訂正

農協だより 令和3年3月号 (No347) の掲載内容に一部誤りがありましたので、訂正させていただきます。

P5 新総代名簿の所属地区

(誤) 山室荒屋 牧一裕氏  
(正) 中川原 牧一裕氏

総代 牧一裕氏の所属地区は、正しくは中川原でした。

関係各位には多大なるご迷惑をお掛けしますことを謹んでお詫び申し上げます。